

第1回茨城県水道ビジョン策定検討委員会議事要旨

- 1 日時 令和3年7月14日（水）10:30～12:00
- 2 場所 茨城県開発公社ビル4階大会議室
- 3 出席者 茨城県水道ビジョン策定検討委員：
藤田 昌史、佐藤 裕弥、北野 守康、石川 知子、矢口 みどり
岡部 和彦、荒井 宰、飯田 薫、高崎 克彦、原部 修一 以上10名
オブザーバー：
厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 課長補佐 遠藤 智義
幹事：
茨城県県民生活環境部水政課 課長 橋本 慎
※佐藤委員、北野委員及び遠藤課長補佐は web 会議システムでの出席
- 事務局：
茨城県県民生活環境部水政課 副参事 廣瀬 喜之 他7名

4 議事の経過及び結果

- (1) 委員長の選出
検討委員会委員長を藤田昌史委員とする案を提案後、満場一致で承認された。
- (2) 副委員長の選出
藤田委員長は、副委員長に佐藤委員を指名し、佐藤委員はこれを了承した。
- (3) 検討内容
- ① 水道ビジョン策定の必要性について（資料5）
＜事務局説明概要＞
- ・策定の根拠、目的、作成要領、既往の計画等について
 - ・水道ビジョン策定のスケジュール及び水道ビジョン策定検討委員会における検討内容について
- ② 茨城県水道ビジョンの概要（たたき台）について（資料6及び参考資料1、2）
＜事務局説明概要＞
- ・水道ビジョンの趣旨
 - ・一般概況
 - ・水道の現況（H30年度ベース）
 - ・圏域の区分の設定

- ・給水量の実績と水需給の見通し（水需要推計）
- ・現状分析と評価、課題の抽出
- ・将来目標の設定とその実現方策
- ・都道府県水道ビジョン策定のための体制及び策定後のフォローアップ

【各委員の主な質疑】

- 水道広域化推進プラン及び水道基盤強化計画の検討状況、水道ビジョンとの関連性等について

<事務局> 上記3計画等の位置付け、進捗状況等について説明

- 共同発注等に対する市町村の対応、現実的な取り組み事例について

<事務局> 県内の取組状況等について説明

【各委員の主な意見】

- 水道ビジョンの方向性として記載されている「1県1水道」という位置付けを強く推進してほしい。
- 茨城県内は既に人口減少に転じていて、今後、安全・安心な水が手に入る仕組みを構築していくためには、広域連携が非常に有効。
- 特に人口が減っている中では、規模の小さい水道事業者ほど厳しい状況が早く来るという状況を鑑みると、この目標年次の30年後（2050年）について、可能であればもう少し繰り上がらないだろうかという意見・希望は持っているが、現実的なところを踏まえて、目標を設定していただければ問題ない。
- 30年後の姿とともに、段階を経て着実に遂行できるような推進体制、市町村に対する経営管理力への支援体制も含めた当面の10年計画等が、このビジョンの中に盛り込まれればよいのではないかと。
- 本日提案されている資料等をより具体的に進めていくことが重要なのではないかと。
- 以前茨城県企業局が市町村へのアンケートからの課題を抽出し、具体的な案をとりまとめていたが、重要なデータであり、共有して検討を行うこと。